

2026年7月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位: %)

大 阪 店	+6.0	柏 店	※2 +2.2
京 都 店	※1 +17.4	E C 店	+12.8
泉 北 店	+10.9	(株) 高 島 屋 各 店 計	+8.5
日 本 橋 店	+16.7	(株) 高 島 屋 各 店 既 存 店 計	※3 +9.9
横 浜 店	+6.6	岡 山 高 島 屋	+7.1
新 宿 店	+12.0	高 崎 高 島 屋	+0.7
玉 川 店	+2.7	国 内 百 貨 店 計	+8.3
大 宮 店	+7.5	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +9.6

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 本年1月7日に営業を終了した「堺店」の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+8.3%(※+9.6%)、免税売上高+26.2%、免税を除いた店頭売上高+6.1%(※+7.6%)となりました。

○国内顧客については、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品のほか、夏物衣料(正価品)や食料品等も堅調に推移し、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客についても、高額品に加え、化粧品やスポーツ関連商品等が伸長したことで前年実績を上回り、店頭売上高全体を押し上げました。 ※インバウンド: 前年比【件数(客数)】+7.6%【単価】+17.4%

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、柏店、EC店、岡山店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類・既存店対比)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、食料品、食堂、サービスが前年実績を上回りました。

以 上